

大洗町第6次総合計画に基づく令和4年度事業評価 評価一覧

政策4
大洗の未来を担う人材を育てるまちづくり

(R5.9月末時点)

施策 No.	施策名	個別施策	重点	具体的な取組み	評価	担当課	(参考) R3d
4-1	幼児期の教育・保育の推進	4-1-1	○	保育環境の充実	B	こども課	B
		4-1-2		保幼少連携による幼児期の教育の質の向上	B	こども課	B
		4-1-3		学童保育内容の充実	B	こども課	B
		4-1-4	○	切れ目のない親と子への健康支援	B	こども課	B
		4-1-5	○	子育て世帯への支援体制の充実	B	こども課、住民課	B
		4-1-6		児童虐待防止の推進	B	こども課	B
4-2	知・徳・体が調和した特色ある教育の推進	4-2-1		豊かな人間性を培う教育の推進	B	学校教育課	B
		4-2-2	○	確かな学力を身につける教育の推進	B	学校教育課	B
		4-2-3		健やかな心と体を育む教育の推進	B	学校教育課	B
		4-2-4		小中連携教育の推進	B	学校教育課	B
		4-2-5	○	社会の変化に対応した教育の推進	B	学校教育課	B
4-3	学校・家庭・地域の連携と協働による安心して学べる環境の整備	4-3-1	○	学校・家庭・地域との連携・協働	B	学校教育課	B
		4-3-2		信頼・尊敬される教員の育成	B	学校教育課	B
		4-3-3		学習環境の整備と学校組織運営の改善	B	学校教育課	B
		4-3-4	○	いじめ・不登校等への対策と安全確保	B	学校教育課	B
		4-3-5	○	すべての子どもたちへの学習機会の確保	B	学校教育課	B
4-4	生涯学習活動の推進	4-4-1	○	社会教育の推進	B	生涯学習課	B
		4-4-2	○	青少年の健全育成	B	生涯学習課	C
		4-4-3	○	スポーツ・レクリエーション活動の推進	B	生涯学習課	C
		4-4-4	○	指導者・団体の育成、強化	B	生涯学習課	C
		4-4-5	○	芸術文化活動の充実	B	生涯学習課	B
		4-4-6	○	文化団体の活動の推進・支援	B	生涯学習課	B
4-5	歴史資源の保存と活用	4-5-1	○	史跡磯浜古墳群の整備	B	生涯学習課	B
		4-5-2	○	大洗遺産の認定	B	生涯学習課	C
		4-5-3		文化財の保護活用	B	生涯学習課	B
		4-5-4	○	歴史文化の普及	A	生涯学習課	B

第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-1	幼児期の教育・保育の推進	こども課、住民課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	町内の保育環境に対する満足度	44.3%	-	-	50.0%
KGI	-	子育て世帯への支援体制の充実に対する満足度	65.1%	-	-	70.0%
KGI	-	大洗町で、今後も子育てをしていきたいと思う方の割合	62.7%	-	-	90.0%
KPI	4-1-1	保育所等の待機児童数	0人	0人	0人	0人
KPI	4-1-4	産後、退院してからの1ヵ月程度、助産師や保健師等からの指導ケアを十分に受けることができた方の割合	88%	95%	92.7%	95%
KPI	4-1-4	子どもに対して育てにくさを感じている方のうち、相談先を知っているなど何らかの解決方法を知っている方の割合	71%	90%	100%	90%
KPI	4-1-5	ひとり親世帯への相談会の開催	新規設定	1回/年	1回/年	3回/年
KPI	4-1-5	小児医療費自己負担	無料	無料	無料	無料

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-1-1	保育環境の充実	こども課	B
取組内容や今後の方針	<p>働き方改革等により、多様な保育ニーズが求められており、延長保育や一時保育事業等の実施により保育環境の整備を図っている。また、令和4年度新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を活用し、町内の保育施設に対し、物価高騰対策として給食費・光熱費の補助事業を実施し、給食の質の維持と保育施設の負担軽減を図った。今後も、利用者の声に耳を傾けながら保育環境の充実に努めていく。</p> <p>少子化による今後の保育環境のありかたについては、関係機関とも協議をしながらより一層の充実を図っていく。</p>		
4-1-2	保幼小連携による幼児期の教育の質の向上	こども課	B
取組内容や今後の方針	<p>保幼小連携においては、要保護児童対策地域協議会において情報交換を行い、町内の保育園、幼稚園、小学校の連携を図った。</p> <p>今後も、情報交換の場の創出や、研修会等の開催など、引き続き保幼小の連携による教育の質の向上を推進していく。</p>		
4-1-3	学童保育内容の充実	こども課	B
取組内容や今後の方針	<p>学童保育については、民間学童保育施設とも連携を図りながら業務を遂行しており、「待機児童ゼロ」を継続している。今後も引き続き「待機児童ゼロ」を継続できるよう連携を図っていく。</p> <p>また、支援員の確保と、専門知識のある専門員の配置については、研修等への参加などを通して人材育成に努めていく。</p>		

(次のページへ続く)

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A～D)		評価
4-1-4	切れ目のない親と子への健康支援 こども課	B
取組内容や今後の方針	子育て世帯包括支援センター業務及び母子保健業務がこども課に編入されたことにより、妊娠期から支援を必要とする親子に対して、切れ目のない支援が可能となった。支援事業の周知を図り、必要な人に必要な支援が届くように丁寧な説明に努めた。今後も、関係機関との連携を図りながら、問題の早期発見や早期対応のできる支援体制の推進を図っていく。	
4-1-5	子育て世帯への支援体制の充実 こども課、住民課	B
取組内容や今後の方針	「親子ふれあいセンターきらきら」を拠点とし、子育ての不安解消と虐待防止を図るため、子育てに関する情報の発信や親同士の情報交換の場となるよう、イベントの開催等に努めた。「ひとり親世帯への相談会」を年1回開催した。令和4年度は集団での相談会という形で開催したが、想定よりも参加者が少なかった。次年度は開催方法を個別相談に変更するなど、事業の展開方法を随時検討しながら進めていく。 県の制度である医療費助成制度により、病院等受診時の自己負担の軽減を図っている。町では独自に自己負担の範囲を拡大し、18歳までの無料化を行っている。今後も安心して必要な時に必要な医療を受けられるように無料化を継続していく。	
4-1-6	児童虐待防止の推進 こども課	B
取組内容や今後の方針	児童虐待防止を図るため、令和4年4月から「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、業務を行った。また、子育て世帯包括支援センター業務及び母子保健業務がこども課に編入されたことにより、日頃からの一体的な情報連携のもとスピーディーな対応が可能となった。今後も、県及び関係各機関との連携を強化しながら、児童虐待防止に向けた取り組みを推進していく。	

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-1-1	委員:今後の保育施設の在り方について検討するとあるが、昨年の本町の出生数が48名とも聞いており、まさに今、考えるべき問題だと思う。きちんと会議などで議題として取り上げてほしい。 担当:公立である第一保育所については、現在「公共施設の今後の在り方に関する内部検討会」が組織されており、その中で慎重に検討を進めていく。
4-1-4	委員:KPI が100%を達成しているところもあり、B 評価では低いのでは。 担当:当該 KPI は、割合としては100%ではあるが、もともと母数が少ないこともあり高めの数値がでていると考えている。今後は、回答者数を増やすよう、更に努力していく。
4-1-5	委員:前回の審議会で相談会のネーミングについて意見したところ、キチンと反映されており、良くなったと感じていた。ただ、参加者数は少なかったようで残念である。父子はいたか。 担当:参加者は母子のみだった。集団開催ということで、参加しづらかったのかもしれない。 委員:それを踏まえて、個別を検討したということか。今後も、個別で続けるのか。 担当:今年、個別での開催の参加状況を踏まえて、今後の開催方法を検討していく。

第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-2	知・徳・体が調和した特色ある教育の推進	学校教育課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	小学校 96.5% 中学校 81.1% (令和元年度)	小学校 97.0%以上 中学校 85.0%以上	小学校 86.2% 中学校 87.2%	小学校 97.0% 中学校 85.0%
KGI	-	夢や目標に向かって努力している児童生徒の割合	小学校 88.0% 中学校 77.2% (令和元年度)	小学校 90.0%以上 中学校 80.0%以上	小学校 80.8% 中学校 68.2%	小学校 90.0% 中学校 80.0%
KPI	4-2-2	全国学力・学習状況調査標準化得点	全国平均以下	全国平均以上	中学(国・理) 全国平均以上	全国平均以上
KPI	4-2-2	小学校で年間 50 冊、中学校で年間 30 冊以上本を読む児童生徒の割合	小学校 82.4% 中学校 5.1%	小学校 85.0%以上 中学校 7.0%以上	小学校 70.4% 中学校 3.5%	小学校 85.0% 中学校 10.0%
KPI	4-2-5	大洗町郷土テキスト「大洗道」スタンプラリー達成率	新規設定	30.0%	20.0%	50.0%

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-2-1	豊かな人間性を培う教育の推進	学校教育課	B
取組内容や今後の方針	<p>対面しての活動や体験活動が再開され始め、他者との「ふれあい(話し合い、協働活動等)」の中で、豊かな人間性の向上を図った。また、中学校において人権教育の一環として、多様性の理解に関する取り組みを実施した。</p> <p>今後においても、地域人材や団体を活用しての多様な体験活動の充実を図りながら、児童生徒の豊かな人間性の育成を図る。</p>		
4-2-2	確かな学力を身につける教育の推進	学校教育課	B
取組内容や今後の方針	<p>町採用の社会人 TT や特別支援員の活用により、少人数指導及び個別指導(配慮を要する児童生徒、学習や学校生活につまずきの見られる児童生徒等)の充実を図った。また、ICT 機器の活用により、知識や思考力、表現力(調べる、考えの共有、伝える等)の向上に努めた。また、令和4年度新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用して各校に電子黒板等の大型提示装置を整備した。感染症対策ばかりではなく、今後子どもたちにとってより一層効果的な学習となることが期待できる。</p> <p>今後も、個に応じたきめ細かな指導ができる体制づくりに努める。</p>		
4-2-3	健やかな心と体を育む教育の推進	学校教育課	B
取組内容や今後の方針	<p>栄養教諭等による「食育(食に関する教育)」により、給食素材の地産地消や食による健康の保持増進の推進に努めた。令和4年度新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用して、昨今の物価上昇による給食食材や燃料費の高騰により給食費に変更が生じないよう、給食費の支援を行った。また、県の「体育大好き推進事業(R4~R6)」による加配教員の活用により、運動の楽しさを味わわせるとともに体力づくりの推進を図った。</p> <p>今後も、栄養教諭等を中心とした「食育」の推進を行い、また体力テストの結果を踏まえた体力向上の施策案の提供に努める。</p>		

(次のページへ続く)

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A～D)		評 価
4-2-4	小中連携教育の推進	学校教育課
取組内容や今後の方針	「小中合同研修会」や「相互授業参観」を実施し、小中間での取組の共通理解を図った。幼稚園の授業公開においては、小中学校にも呼びかけ幼児教育の周知にも努め、幼小中連携を行った。また、県の学校安全総合支援事業において防災教室を実施し、小中連携(小6、中1)として中学生が指導者となる避難所設営体験を実施した。今後、校種の異なる交流活動(幼小中高)の推進に努める。	B
4-2-5	社会の変化に対応した教育の推進	学校教育課
取組内容や今後の方針	英語教育の推進として、タブレットを活用しての「オンライン英会話」の試行実施を行った。ネイティブな英会話(発音)を聞くことができると同時に、1対1の会話のため自分の英語力(会話力)に合った学習が実施できた。今後、各校2名に増員した ALT の有効活用とオンライン英会話の充実に努める。	B

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-2-1	<p>委員:KGI「学校が楽しいと感じる児童生徒の割合」は数値が下がっているが、その要因は。</p> <p>担当:選択式のため、実際に児童生徒が何を感じているのかの詳細は不明だが、コロナ禍でのアンケートのため、それ以前に比べて学校が楽しいと感じる割合が下がっているのではないかと推測している。</p> <p>委員:地域人材や団体の部分で、うみまちコミュニティスクールの話があったが、まだ始まったばかりということか。</p> <p>担当:これまでの学地連(学校・地域連携)の取組の流れを汲み、令和4年度からはじまったところであり、まだまだこれからの取組みである。教育委員会が総合本部となり、学区ごとに北と南にわかれて活動を行う予定である。</p>
4-2-2	<p>委員:KPI「全国学力」について、中学校の国語・理科が全国平均以上となっているが、これは両校とも同様か。</p> <p>担当:大洗町全体としての実績である。</p>
4-2-5	<p>委員:オンライン英会話の授業を年間20回実施するとのことだが、これは学校全体として年間20回行うということか。</p> <p>担当:授業の一環として実施しており、令和5年度は、各クラス(小5・6、中1・2)において20回(中3は5回)のオンライン英会話授業を受けている。</p> <p>委員:英会話に慣れていない子や、初めて外国人と話す子にとっては、いきなりオンライン英会話授業が始まって、なかなか話せないのではないか。</p> <p>担当:小学校児童の場合、相手先の外国人の先生1人に対してこちらの児童は2人にするなど、話しやすい環境づくりに努めている。また、今年度より ALT が各校2人体制となっていることから、更にフォローしていく。</p>

第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-3	学校・家庭・地域の連携と協働による安心して学べる環境の整備	学校教育課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	安心して子供を育てられる環境が整っている と思う保護者の割合	89.0%	90.0%	92.0%	90.0%
KGI	-	既存組織の再編による学校運営協議会の設置	4校	4校	4校	4校
KPI	4-3-4	不登校出現率	小学校 1.00% 中学校 3.32%	小学校 2.00% 中学校 3.20%	小学校 2.50% 中学校 3.09%	小学校 0.67% 中学校 2.99%
KPI	4-3-4	いじめの解消率	75.3%	80.0%	83.0%	100.0%
KPI	4-3-5	端末を自宅学習に活用した児童生徒の割合	0%	90.0%	91.7%	100.0%

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評 価
4-3-1	学校・家庭・地域との連携・協働	学校教育課	B
取組内容や 今後の方針	地域の方々との連携・協働と共に、コミュニティスクールの設立(各中学校区)により、 地域人材を活用した学習活動や体験活動の充実を図った。また、授業参観を地域にも 呼びかけ、学校教育活動の周知を図った。 今後、コミュニティスクールとの連携を強化し、学校の課題に対応した人材の活用およ び取組を実施していく(学校の要望に応じた人材・団体の紹介等)。		
4-3-2	信頼・尊敬される教員の育成	学校教育課	B
取組内容や 今後の方針	町教育委員会による「若手教員研修」と共に、各校からの要請による訪問指導(授業参 観及び面談等)を実施し、教職員の資質・能力の向上に努めた。 今年度は、「学級経営充実サポート訪問」として、町教育委員会が担任をもつすべての 教職員の授業参観と面談を実施し、授業力向上と学級経営のサポートを行う。		
4-3-3	学習環境の整備と学校組織運営の改善	学校教育課	B
取組内容や 今後の方針	各校の安全点検(月1回)の実施や修繕依頼の把握を行い、迅速な対応に努めた。県の 学校安全総合支援事業において生活環境課や関係機関と連携し、防災教室や避難所 (簡易テント等)の設営体験を実施し、防災への意識向上に努めた。 今後も引き続き、学習環境の把握と防災意識向上への取組を推進していく。 また、令和4年度は補助金を活用し、各学校がコロナ禍においても児童生徒の安心安 全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、学校の感染症対策や児 童生徒の学びの保障をするための備品を購入した。		

(次のページへ続く)

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A～D)		評価
4-3-4	いじめ・不登校等への対策と安全確保 学校教育課	B
取組内容や今後の方針	こども課と指導室による学校訪問を実施し、いじめ・不登校の実態把握及び具体的な指導助言を行った。また、教育センター、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーと連携し、個別対応を行った。 令和5年度より、新規事業「学級経営充実サポート訪問」を実施する。学級担任一人一人の課題に即して、授業改善・学級経営改善のための指導助言(面談形式)を行い、生徒指導の充実に努める。	
4-3-5	すべての子どもたちへの学習機会の確保 学校教育課	B
取組内容や今後の方針	一人一台端末を活用した「オンライン授業実施体制の整備」により、学級閉鎖や臨時休校への対応が図られている。また、「家庭学習での活用」や「AIドリル」の導入、「長期休業日における調べ学習」での活用を行った。 今後も、様々な状況に対応した学習機会の確保と学習環境の整備を進めていく。	

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-3-1	委員：一中学区の小中連携における授業参観では、地域の人を呼んでいるとのことだが、周知は行っているのか。 担当：回覧版のほか各家庭へのメールにより、保護者だけでなく、祖父母や地域の方々にもご参観いただけるよう周知している。
4-3-2	委員：「学級経営」とあるが、「運営」ではなく「経営」とした理由は。 担当：学校現場では一般的に学級経営といった表現が使われているため、そこからとっている。 (審議会後補足)文部科学省作成の学習指導要領にも「学級経営」という表現が使用されています。 委員：町教育委員会で全ての先生のサポートを行っているということか。 担当：県教育委員会によるサポートが大部分であるが、町教育委員会でも年3回程度、授業参観及び面談を実施している。
4-3-3	委員：防災教室や避難所の設営体験については、学校が独自に行ったものか。 担当：学校と学校教育課、生活環境課(防災主管課)で企画し、実際に子どもたちが避難所設営などを体験している。 委員：実施した結果はまとめているか。 担当：子どもたちにアンケートを取って、その反応をまとめている。当日は非常食の試食体験なども行っており、好回答が多かった。
4-3-4	委員：KPI「不登校出現率」が小学校では悪化しているが、どう考えているのか。 担当：学年によって出現率に違いもあるが、大人たちの目に見えないところで、人とのつながりが希薄になっていることも影響していると考えます。 委員：学校では対策はとっているのか。 担当：スクールカウンセラーによる声掛けや、1人1台のタブレットを活用した相談も受けており、相談しやすい環境づくりに努めている。 委員：不登校を担当する先生もいるのか。 担当：学校により兼任の場合もあるが、各校とも不登校対応担当の先生がいる。
4-3-5	委員：1人1台端末は有用だが、情報モラルも大事になる。学校ではもちろんだが、各家庭でも、親子で使用上の注意事項の確認やフィルタリングの設定などは行っているのか。 担当：もともとフィルタリングは全体として行っており、保護者向けに SNS 等の講習は実施しているが、各家庭での使用にあたり、ルール作りの喚起は行ったが、各家庭の作成までは確認していない。 委員：取り組み自体は良いものだと思うので、そのあたりも検討してほしい。

第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-4	生涯学習活動の推進	生涯学習課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	社会教育の推進に対する住民満足度	21.2%	-	-	42.0%
KGI	-	成人の週1日以上スポーツ実施率	45.4%	-	-	55.0%
KGI	-	芸術文化の振興に対する住民満足度	19.6%	-	-	40.0%
KPI	4-4-1	公民館講座受講者数	144人/年	250人/年	248人/年	250人/年
KPI	4-4-2	家庭教育に関する講演会への参加者	46人/年 (令和元年度)	60人/年	50人/年	60人/年
KPI	4-4-3	スポーツイベントの年間参加者数	4,000人/年	4,000人/年	2,101人/年	4,500人/年
KPI	4-4-4	プロスポーツチームとの交流イベント数	毎年度開催	3回/年	5回/年	3回/年
KPI	4-4-5	老若男女が堪能できる演目を企画する	2回/年	4回/年	3回	4回/年
KPI	4-4-6	体験講座等を開催し、文化団体への新規加入を促す	新規設定	1回/年	0回	毎年度開催

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-4-1	社会教育の推進	生涯学習課	B
取組内容や今後の方針	<p>公民館を拠点に活動する自主サークルの情報を公民館講座募集チラシや広報誌で紹介し、学習機会の情報提供を図った。また、コロナ禍ではあったが、町民の学びを止めないためにも感染症対策を徹底し、公民館講座を継続的に開催することで、学習機会・交流機会の充実を図った。4年振りに学習成果の発表の場として生涯学習フェスティバルを開催することができ、生涯学習への意欲を高めることができた。</p> <p>今後も、多様な学習ニーズに対応した学びの場を充実させていく。</p>		
4-4-2	青少年の健全育成	生涯学習課	B
取組内容や今後の方針	<p>コロナ禍ではあったが、感染症対策を講じながら学校・地域等が連携し、様々な学習活動や体験活動など、昨年度より多くの事業を実施することができた。また、家庭教育学級合同講演会では、防災についての講話・ワークショップを行い、家族で防災について改めて話し合ってもらいきっかけづくりとなった。</p> <p>引き続き、学校・家庭・地域が連携して、未来を担う青少年の育成を図っていく。</p>		
4-4-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進	生涯学習課	B
取組内容や今後の方針	<p>令和4年度のスポーツイベントについては、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら開催した。コロナ禍の中での開催であるため、例年の参加者数まで届かなかった所であるが、R6年度の目標値に向け、スタート出来たと感じている。</p> <p>今後については、今年より参加者を増やせるよう関係団体と連携をとりながら、町民のスポーツ実施率向上を推進していく。</p>		

(次のページへ続く)

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)		評価
4-4-4	指導者・団体の育成、強化	生涯学習課
取組内容や今後の方針	<p>令和4年度については団指導者の資格取得の場である指導者講習会も通常開催されるとともに、団員勧誘の場であるスポーツ少年団フェスティバルも開催し、指導者や団員の発掘に努めた。</p> <p>今後も団体の育成・強化を図っていくとともに、団員勧誘の場を増やしていく。また、引き続きスポーツイベントについても、プロスポーツ選手の誘致をするなど、多くの子供たちにスポーツへの憧れをもって、スポーツを好きになってもらえるよう取組を行っている。</p>	B
4-4-5	芸術文化活動の充実	生涯学習課
取組内容や今後の方針	<p>例年実施している芸術鑑賞の集いについては、小学生を対象に「おしゃべりなパントマイム」を実施した。双方向的・体験型の演目が好評であったため来年度も継続して進めていく。</p> <p>また、大洗音楽祭については、プロの音楽家を中心に幅広いジャンルのコンサートを開催した。観客には好評であったため来年度以降も同じような形式で開催を継続していく。</p> <p>令和4年度独自の事業として、宝くじの助成による宝くじ文化公演「秋川雅史・夏川りみ ハートフルコンサート」を開催した。助成のため入場料金が格安であり、出演者も有名人であるため、最大客席の8割以上も埋めることができた。</p> <p>来年度以降も機会があれば採択されるよう応募していく。</p>	B
4-4-6	文化団体の活動の推進・支援	生涯学習課
取組内容や今後の方針	<p>令和4年度には新規事業として芸術活動の活性化のため大洗町芸術文化協会の会員を講師として派遣する浜っ子アート体験講座の取り組みを進めた。</p> <p>(令和4年度には講座の募集を行ったが、応募がなかったため実績値を0とした)</p> <p>令和5年度も継続して進めていく。</p> <p>生涯学習フェスティバルや芸術文化協会主催の芸術文化祭をとおして新規加入者促進活動を行っている。</p>	B

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-4-2	<p>委員:学校・家庭・地域が連携してとあるが、学校教育課で実施しているコミュニティスクールの取組とは違うのか。</p> <p>担当:コミュニティスクールについては、学校の運営にかかわる組織であり、学校・家庭・地域と連携してより良い学校環境を作っていくというものである。本施策においては、学校・家庭・地域と連携して、青少年の健全育成を図ることを目的としており、コミュニティスクールと連動した事業も実施している。</p>
4-4-5	<p>委員:取り組み内容としてはA評価でも良いように思うが、KPIが目標に達していないことから、B評価としたのか。そもそも、あと1回を実施することは可能なのか。</p> <p>担当:KPIが達していないことからB評価としている。KPIである4回の開催については、達成可能な数値と考えている。</p> <p>委員:宝くじ助成を活用したイベントは、2年連続で令和5年も実施できるのか。</p> <p>担当:可能とは思いますが、今後、採択されにくくなる恐れがある。演目も、こちらで自由に選べるものではないので、集客率などを考え、より効果的な実施を探っていく。</p>

第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-5	歴史資源の保存と活用	生涯学習課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	磯浜古墳群の国指定数量	3基	3基	3基	4基
KPI	4-5-1	史跡磯浜古墳群保存活用計画の策定	未策定	未策定	未策定	策定
KPI	4-5-2	大洗遺産の認定	1件	1件	1件	2件
KPI	4-5-2	大洗遺産「磯節」の広報	2件/年	2件/年	2件/年	4件/年
KPI	4-5-4	企画展・特別展入館者数	2,287人/年 (令和元年度)	2,443人/年	2,860人/年	2,600人/年
KPI	4-5-4	博物館入館者数	4,745人/年	6,372人/年	10,943人/年	8,000人/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-5-1	史跡磯浜古墳群の整備	生涯学習課	B
取組内容や 今後の方針	寄附を含めサインシステム7~8基の整備を進めてきた。磯浜古墳群マップを製作し町内全児童生徒、観光案内所等に配布した。FB・Twitter『大洗町の歴史と文化』を通じた情報発信も継続した。保存活用計画もほぼ完成し、令和5年度には公有化事業が進められる。磯浜古墳群来訪者が増えており、整備へ向けた機運の醸成を図っていく。		
4-5-2	大洗遺産の認定	生涯学習課	B
取組内容や 今後の方針	大洗遺産第1号の磯節について、町内外への戦略的な情報発信を進めるため、大洗遺産制度と磯節の性格について解説したパンフレットの製作を開始した。令和5年度中に、印刷、配布する予定である。		
4-5-3	文化財の保護活用	生涯学習課	B
取組内容や 今後の方針	埋蔵文化財については、民間開発・公共事業に先立ち、試掘調査による遺構・遺物の破壊が進まないよう、取り扱いを進めており、今後は庁内関係各課を対象とした説明会を進め、遺漏の無い取り扱いを進める予定である。また、埋蔵文化財企画展『OARAI KOFUN EXPO』やシンポジウム『文化と観光』を開催し、地域資源の活用を図ってきており、今後も継続する予定である。		
4-5-4	歴史文化の普及	生涯学習課	A
取組内容や 今後の方針	水浜電車が水戸の浜田から大洗町の磯浜まで開通して100年にあたることを記念し、特別展を開催するとともに講演会や水浜線跡をたどる関連イベントを開催し、SNS等で積極的に広報するなど、町の歴史文化の普及に努めた。今後は、収蔵資料を活用した企画展を開催するなど、引き続き歴史文化の普及に資する取組を推進していく。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-5-3	<p>委員:民間による埋蔵文化財の発掘申請が、年間10件ほどあるとの説明があったが、埋蔵文化財がありそうな場合に提出されるものなのか。</p> <p>担当:すべての案件で提出をお願いしており、その結果、年間10件ほど発掘に繋がっている。</p> <p>委員:協力的でない事業者もいるのか。</p> <p>担当:時間や費用の面でも、顧客に負担をかけることから、そういった事業者もある。</p> <p>委員:協力を求めるしかないのか。</p> <p>担当:法律でも決まっていることから、今後も周知を続けていく。</p>